

[資料編]

計 画 策 定 経 過

◎ 計画案の検討等

開催年月日	開催審議会等	内 容
平成16年 8月19日	新潟県医療審議会	策定方針等検討
平成17年 6月22日	第1回新潟県保健医療推進協議会 調査分析検討委員会	圏域別患者動向、医療機能検討
平成17年 8月 3日	第2回新潟県保健医療推進協議会 調査分析検討委員会	圏域の広域化した場合の 患者動向、医療機能検討
平成17年 8月 5日	新潟県医療審議会	策定方針、二次保健医療 圏の課題と広域化審議
平成17年10月14日	新潟県医療審議会	二次保健医療圏の見直し 案諮問
平成17年11月16日	新潟県医療審議会	二次保健医療圏の見直し 案審議
平成17年11月30日	第3回新潟県保健医療推進協議会 調査分析検討委員会	圏域別医療機能評価報告 書案検討
平成17年12月 1日	第1回新潟県保健医療推進協議会	地域保健医療計画素案検討
平成17年12月21日	新潟県医療審議会	二次保健医療圏の見直し 案、地域保健医療計画素 案検討
平成17年12月28日	新潟県医療審議会长から知事へ 答申を渡す	二次保健医療圏の見直し 案答申
平成18年 1月12日	新潟県精神保健福祉審議会	地域保健医療計画素案検討
平成18年 3月 2日	第2回新潟県保健医療推進協議会	地域保健医療計画案検討
平成18年 3月17日	新潟県医療審議会	計画案諮問、答申

◎ 調査・意見聴取等

実施時期	内 容
平成16年10月	新潟県医療施設機能調査、新潟県保健医療需要調査 新潟県保健医療福祉県民意識調査
平成17年 4月	新潟県医療機能（症例数）調査
平成17年10月14日 ～11月14日	二次保健医療圏の見直しに係るパブリックコメントによる県民の意見聴取
平成17年11月	二次保健医療圏の見直しに係る医療法に基く関係団体意見聴取
平成18年 1月16日 ～2月9日	電子会議室による有識者、県民の意見聴取
平成18年 1月30日、 1月31日、2月3日	健康福祉タウンミーティングの開催 (新潟市、長岡市、上越市)
平成18年 1月30日 ～2月17日	パブリックコメントによる県民の意見聴取
平成18年 3月	地域保健医療計画に係る医療法に基く関係団体意見聴取

計 画 改 定 経 過

◎ 改定計画の検討等

開催年月日	開催審議会等	内 容
平成18年12月～ 平成20年 2月	地域医療連絡協議会 (二次保健医療圏ごとに開催)	改定計画案作成に向け 協議、検討
平成19年11月 7日	新潟県保健医療推進協議会	改定計画素案検討
平成19年12月 3日	新潟県医療審議会	改定計画素案検討
平成20年 2月13日	新潟県保健医療推進協議会	改定計画案検討
平成20年 8月 5日	新潟県保健医療推進協議会	改定計画案検討
平成20年10月～ 11月	地域医療連絡協議会 (二次保健医療圏ごとに開催)	改定計画案検討
平成20年11月19日	新潟県医療審議会	改定計画案諮問、答申

◎ 調査・意見聴取等

実施時期	内 容
平成20年 6月23日～ 7月18日	電子会議室による県民の意見聴取
平成20年 8月	県内の病院及び診療所（歯科を除く）に対し医療機能調査
平成20年 9月12日～ 10月10日	パブリックコメントによる県民の意見聴取
平成20年 9月12日～ 10月 3日	医療法に基づく関係団体の意見聴取

用語説明

※ ページ番号については、主にその用語を記載しているページを掲載しています。

	用語	ページ※	説明
い	一類感染症	82	既知の感染症で、感染力やり患した場合の症状などから判断した危険性が極めて高い感染症（エボラ出血熱、痘そう、ペスト等7疾患）
い	医薬分業	105	病気になり医師の診断を受けた際に、病院・診療所で薬をもらう代わりに処方せんをもらい、その処方せんに基づいて街の保険薬局で薬を調剤してもらう制度
い	医薬分業推進支援センター	108	使用頻度の低い調剤用医薬品の備蓄と薬局への譲渡、医薬品情報の収集と薬局・医療機関・地域住民に対する情報の提供、休日・夜間時の調剤、薬剤師の研修などを行い、地域における医薬分業の推進を支援する施設
い	医薬分業率	104	全患者のうち投薬が必要とされた患者への処方件数に対する院外処方せん枚数の割合
い	インターフェロン治療	96	肝炎ウイルスを体の中から排除して、感染からの治癒を目指す治療法
い	院内コーディネーター	87	県の委嘱により、新潟県臓器移植コーディネーターと連携を図り、病院内の医療従事者等に対する臓器移植の普及啓発の推進や臓器提供の意思が迅速に関係機関に伝達される体制の整備を行う者
え	HIV感染	82	Human Immunodeficiency Virus（ヒト免疫不全ウイルス）という人体の免疫機能を失わせる作用を持ち、エイズ（後天性免疫不全症候群）の原因となるウイルスに感染すること
え	AED	54	自動体外式除細動器 Automated External Defibrillator の略 心臓が停止した患者に簡易な操作により自動的に電気ショックを与えて救命する装置
え	エコノミークラス症候群	59	長時間、座席に同じ姿勢で座ったままであることで、膝の裏あたりの静脈の血が流れにくくなり、血の固まりができてしまう病気
お	おくすり手帳	105	処方された薬の名前や飲む量、回数などの記録（薬歴）を残すために患者が持つ手帳
か	介護福祉士	113	国家資格で専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者に対して入浴、排せつ、食事、その他の介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う者
か	介護予防	22	「生活機能」の低下を防ぐことにより、高齢になっても健康で生き生きとした生活を送ること
か	かかりつけ医	23	病気の治療や健康相談などに応じてくれる身近な診療所等の医師
か	かかりつけ薬局	105	特定の個人が、どの医療機関で処方せんをもらっても、その処方せんを必ず持って行って薬の調剤を受けると決めた薬局

	用語	ページ※	説明
か	肝炎ウイルス検診で陽性	96	C型肝炎ウイルス検診で「感染している可能性が極めて高い」と判定された者及びB型肝炎ウイルス検診で「HBs抗原検査陽性」と判定された者
が	がん診療連携拠点病院	36	がん診療の中核となる施設として厚生労働大臣の指定を受けた病院 都道府県に1か所程度の「都道府県がん診療拠点病院」及び二次医療圏ごとに1か所程度の「地域がん診療連携拠点病院」の総称
が	がん予防総合センター	37	要精密検査者の精密検診を柱に、①がん精密検診、②検診従事者研修、③地域がん登録、④がん予防PRの機能を備えたがん予防対策の拠点施設（県立がんセンター新潟病院に併設）
か	緩和ケア	37	終末期医療に限らず、診断初期から重視すべきとされ、全人的な観点にたって痛みの緩和などを中心に行われるケア
き	基幹災害医療センター	59	災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための拠点施設として知事が指定した災害拠点病院のうち、災害時医療についての研修機能を併せ持つ施設
き	基準病床数	18	二次保健医療圏ごとに整備することができる病床数
き	QOL	2	人々の生活を物質的な面から量的にとらえるのではなく、精神的な豊かさや満足度も含めて質的にとらえる考え方。医療や福祉の分野で重要視されている
き	救命救急センター	54	第三次救急医療体制として、重篤な救急患者に24時間体制で対応する施設（平成20年2月1日現在 全国209施設（県内4施設））
け	血糖コントロール不可例	51	血液検査項目の1つであるHbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）が8.0%以上であり、網膜症などの細小血管症、心筋梗塞、脳梗塞その他の合併症の危険性がある
こ	広域災害・救急医療情報システム	54	医療関係者と消防機関との間で必要な情報の共有を図り、救急患者の医療確保及び大規模災害時の救援救助活動の支援を行うシステム 県民が、自分の症状やニーズに合った医療機関等を容易に選択できる機能も併せ持つ（サイト名：にいがた医療情報ネット）
ご	合計特殊出生率	4	女性の年齢別出生率の合計で1人の女性とその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の子どもの数
こ	高度救命救急センター	26	救命救急センターのうち、特に広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等の特殊疾病患者に対応する施設（平成20年2月1日現在 全国21施設）
こ	根拠に基づく医療（EBM）	104	経験則に頼る医療から脱却し、臨床研究などの科学的データをもとに、患者にとって最も有益で害の少ない治療法を選択する医療
さ	災害医療コーディネーター	59	被災地を所管する保健所長が務め、被災地での医療救護の窓口として、被災状況等の情報収集・提供や医療全般にわたる要請に対応するとともに、関係機関との連携による災害時医療の企画・調整を行う

	用語	ページ※	説明
さ	災害医療コーディネーターチーム	59	医師会、歯科医師会などの医療関係団体、災害拠点病院、市町村、保健所等の担当者で構成され、関係機関相互の情報共有化を図るなど、コーディネーターを支援する
さ	災害拠点病院	59	災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための拠点施設として知事が指定した病院 原則として二次保健医療圏ごとに指定する「地域災害医療センター」及びその機能をさらに強化し災害時医療についての研修機能を併せ持つ「基幹災害医療センター」の総称
さ	災害派遣医療チーム(DMAT)	59	災害の急性期に可及的早期に救出・救助部と合同し、活動できるトレーニングを受け、機動性を持った医療チーム
ざ	在宅療養支援診療所	75	24時間体制で往診や訪問看護を提供できる診療所
し	脂質代謝異常者	19	血清総コレステロール値が220mg/dl以上(LDLコレステロール140mg/dl以上)の者。また、血清総コレステロール値が220mg/dl(LDLコレステロール140mg/dl)未満で心筋梗塞等の既往があるなどリスクが高い者
し	市販後安全管理規則等	105	医薬品等の製造販売業者に適用される市販後安全管理基準及び品質管理基準並びに製造業者に適用される製造管理及び品質管理基準 いずれも医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保のための基準
し	社会福祉士	113	国家資格で専門的知識及び技術をもって、身体上もしくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う者
し	集学的治療	36	外科療法、放射線療法、化学療法などのいくつかの療法を組み合わせた治療法
し	終末期ケア	79	身体的苦痛や精神的苦痛を軽減することにより、QOL(生活の質)を向上することに主眼が置かれ、緩和ケアに加え、精神的側面を重視した総合的な措置
し	小児救急医療拠点施設	72	重篤な小児救急患者に対応する第二次救急医療施設として、小児科医が常駐する施設
し	食育	20	様々な経験を通じて「食」に関する知識及び「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること
せ	生活不活発病	59	生活が不活発なことが原因で、心身の機能のほとんど全てが低下することで、学術的には廃用症候群という
せ	精神科救急医療体制(システム)	54	休日と夜間において、精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等があった場合に、速やかに適切な精神科医療を受けられることを目的とした救急医療体制
せ	積極的疫学調査	82	感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするため、患者や関係者に対して行う調査

	用語	ページ※	説明
ぞ	臓器移植コーディネーター	27	臓器移植コーディネーターとしての資格を有し、臓器提供発生時におけるあっせん業務を行うとともに、県内医療関係機関、医療従事者及び県民に対する臓器移植に関する普及啓発を行う者
そ	総合周産期母子医療センター	68	相当規模の母体・胎児集中治療管理室を含む産科病棟及び新生児集中治療管理室を含む新生児病棟を備え、常時の母体及び新生児搬送受入体制を有し、母体又は児におけるリスクの高い妊娠に対する医療及び高度な新生児医療等の周産期医療を行うことのできる医療施設
だ	第一種感染症指定医療機関	82	一類感染症または二類感染症の患者の入院を担当する医療機関として県知事が指定した医療機関
ち	地域医療支援病院	78	地域の診療所・他の病院との連携体制や、医療従事者に対する研修体制、救急医療体制などを有する病院で医療機関相互の適切な機能分担を図り、その機能連携を進めることに重点が置かれている病院。医療法に基いて都道府県が承認
ち	地域がん登録	37	がん患者を医療機関からの情報や死亡情報により罹患状況等を把握するシステム
ち	地域包括支援センター	75	介護保険法で定められた、地域住民の保健・医療・福祉の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関
ち	地域リハビリテーション	22	障害のある人々や高齢者及びその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全にいきいきとした生活が送れるよう、医療や保険、福祉及び生活に関わるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動
ち	地域連携クリティカルパス	42	急性期の病院から回復期の病院を経て早期退院できるような診療計画を作成し、治療を行うすべての医療機関で共有して用いる計画
ち	中等度高血圧及び重症高血圧者	19	最高血圧が160mmHg以上または最低血圧100mmHg以上の者。また、最高血圧が130～159mmHg以上または最低血圧85～99mmHg以上であっても常習の喫煙習慣があるなどリスクが高い者
て	低出生体重児	67	出生時に体重が2,500g未満の新生児のことをいう。疾病にかかりやすく心身の障害を残す場合があるなど養育上種々の困難を有することから、養育者にとって不安を与える要素となる
で	電話自動アンサーシステム	23	休日や夜間の初期救急医療機関を電話によって案内するシステム
と	統合失調症	5	精神疾患のひとつで、脳内の神経伝達物質系の失調やストレス等の環境要因が関係すると言われている。幻覚・妄想等の陽性症状と感情の平板化、意欲の低下等の陰性症状が主な症状
と	糖代謝異常者	19	尿糖(±)以上、随時血糖値140mg/dl以上、空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上の者
と	疼痛	37	痛みをあらわす医学用語。大きく痛みの持続期間の短い急性疼痛と、痛みの持続期間の長い慢性疼痛に分類することができる

	用語	ページ※	説明
ど	ドクターカー	26	患者監視装置等の医療機器を搭載し、医師、看護師等が同乗して事故現場や搬送途上へ出動する救急車
ど	ドクターバンク	102	医師の求人、求職の斡旋及び情報提供を目的とした無料紹介制度
ど	ドクターヘリ	26	救命医療用の医療機器等を装備し、救急医療の専門医及び看護師等が同乗して救急現場等に向かい、現場等から医療機関に搬送するまでの間に患者に救命医療を行うことのできる専用のヘリコプター
な	ナースバンク	109	看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）の就業促進のため、求職者、求人施設に対し、情報提供及び就業斡旋を実施 また、現状を把握するための調査、再就業に必要な研修など未就業看護職員の就業を促進するための事業を実施
な	難病相談支援センター	84	難病相談支援員を配置し、地域で生活する難病患者等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などを行い、患者等の療養上、日常生活上での悩みや不安等の解消を図るための施設
に	認知症疾患医療センター	94	認知症に関する専門医療相談、鑑別診断、合併症・周辺症状への急性期対応を行う地域連携体制の中核となる機関
の	脳卒中情報システム	22	脳卒中患者を医療機関からの通報により早期に把握し市町村における適切な在宅サービス等につなげるシステム
ば	バイスタンダー	54	bystander 疾病や交通事故等の救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）
へ	へき地医療拠点病院	63	へき地医療支援機構の指導・調整の下に、巡回診療やへき地診療所等への医師派遣等のへき地における医療活動を継続的に行う施設として知事が指定した病院
む	無医地区、無歯科医地区	64	当該地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径4km以内に医療機関がなく、その地区に50人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区
め	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）	19	肥満（特に内臓脂肪型肥満）に加えて、糖代謝異常（インスリン抵抗性）、脂質異常症、高血圧など、個々の検査データはそれほど悪くなくても、要注意の項目が複数あることにより、動脈硬化が進みやすくなり、心筋梗塞や脳梗塞の危険性が高まる状態
め	メディカルコントロール	54	救急現場から救急医療機関に搬送されるまでの間における救急救命士の活動等について、医師が指示又は指導・助言及び検証することにより、病院前救護の質を保障するもの
や	薬事情報センター	105	医薬品等の情報の収集、解析、評価等を行い、薬局、医療機関、県民等への情報の提供、問い合わせに対応する施設
よ	陽電子放射線断層撮影装置（PET）	37	陽電子放射線断層撮影装置：Positron Emission Tomography 放射性物質が含まれた薬剤を注射し、がん集まる放射線を検出してがんを発見する
り	臨床工学技士	115	医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする者



新潟県